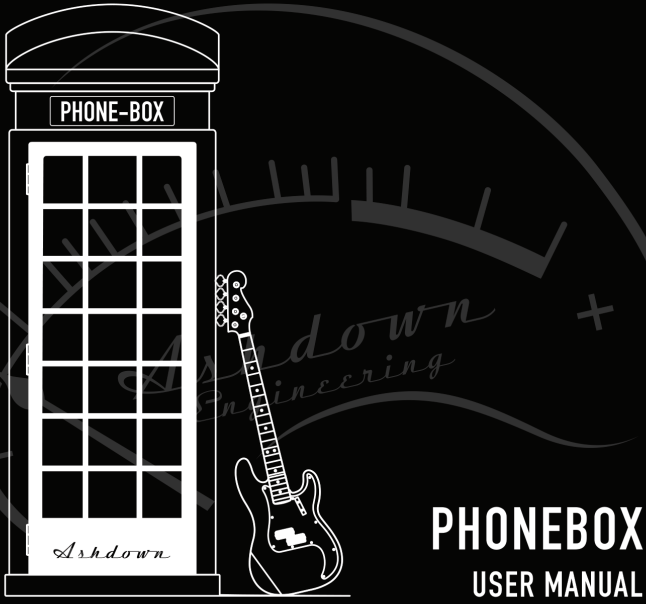


この度はAshdown Engineering「PHONE BOX」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全に正しくお使い頂く為ご使用前に本紙を必ずお読み下さい。また、本紙は大切に保管して下さい。

新しいスタイルのベースアンプにはヘッドフォン出力ソケットを備えている場合がありますが、通常ライブパフォーマンス用に設計されたベースアンプ、またはヴィンテージのプロフェッショナルベースアンプにヘッドフォン出力ソケットは含まれていません。録音やリハーサルの際にサイレントモニタリングの為、このようなヘッドやコンボを使用する必要がある場合、問題を引き起こす可能性があります。

Ashdown PhoneBoxは、ソリッドステートベースアンプで使用するために設計され、この問題を解決します。PhoneBoxはソリッドステートベースアンプのスピーカー出力をヘッドフォン出力に変換することが可能です。

同時にDIに適したバランスのとれた信号を生成します、また録音設定やスレーブとして使用されている他のアンプに接続するのに適したラインアウトです。



## PHONEBOX USER MANUAL

スピーカーキャビネット(またはコンボの場合は内蔵スピーカー)を接続する代わりに、ソリッドステートアンプの出力をPhoneBoxの「AMP」ソケットに接続します。(PHONEジャックまたはスピコン)次に、ヘッドフォンを2つのジャックのいずれかに接続します。(1/4インチTRS、またはミニTRS)。

アンプ側の出力音量を非常に低く設定してからあなたのヘッドフォンで快適なリスニングボリュームの環境になるまで徐々に音量を調整してください。  
※ヘッドフォンの効率は種類により異なります、過度のレベルを避けるように注意してください。

PhoneBoxはDIボックスとしても使用できます。アンプの出力を「AMP」と表示されたソケットに接続し、「SPEAKER」とマークされた出力ソケットをスピーカーへ接続してください。「BALANCED Di」出力よりバランス信号が出力されます。

「LINE OUT」は、オーディオインターフェースへの録音として使用可能です。LINE OUTとBALANCED Di出力と同様に、ヘッドフォン出力も同時に使用できます。Ashdown Phone Boxは、ソリッドステートベースアンプ用に設計されています。(チューブベースアンプには使用しないでください) Phone BoxはTubeギターアンプのDIボックスとしても使用可能です。PhoneBoxをスピーカーキャビネット背面のスピーアソケットまたは予備のスピーカー出力アンプのソケットに接続してください。

重要：PhoneBoxをTubeギターアンプで使用する場合、スピーカーを接続したままにしてください。必要に応じて真空管アンプとロードボックスの間に接続することもできます。

PhoneBoxは接続されているアンプに負荷をかけていません。接続されているキャビネットのインピーダンスの計算に含める必要はありません。

サイズ:11.5cm x 6.5cm x 4cm (L x W x D)  
重量:531g

### コントロール部分

1. 楽器をアンプヘッドに接続。
2. スピコンまたはフォンジャックでアンプのスピーカー出力から PhoneBox"AMP"ソケットに接続。
3. ステージ上またはスタジオでのモニタリングに必要なに応じてスピーカーキャビネットを接続します。
4. FOHまたはオンステージモニタリング用のミキシングデスクに接続するためのバランス型 Di 出力。
5. PHONES - 様々なタイプのヘッドフォンを使用するための1/4インチヘッドフォンジャック。
6. PHONES - 様々な品質のヘッドフォンを使用するための3.5mmサイズヘッドフォンジャック。
- 7.LINE OUT - ラインアウト接続。

### 接続例：

